



住みたくなるまち

南区自治協議会だより

平成29年12月17日発行 第10号

区自治協議会は、区民の皆さんと行政との「協働の要」となるよう、区民の身近なまちづくりや地域課題の解決のため、多様な意見の調整や取りまとめを行っています。活動内容などについて、区民の皆さんに随時お知らせします。

南区自治協議会研修会に参加して

第3部会 早見 真由美

11月17日に南区自治協議会研修会がアグリパークと農業活性化研修センターで開催されました。今年は秋葉区自治協議会委員と合同で施設見学と意見交換会を行いました。

他区の委員の方々と意見交換する会は、7月6日に8区の自治協委員で行われた新潟市区自治協議会委員研修会に続き2回目ですが、毎回新たな発見や出会いをもたらしてくれます。

「農業活性化研究センター」は初めて訪れる場所だったので興味津々でしたが、そこでは今抱えている農業問題の解決のためと、未来の農業のための研究・開発が行われている場所でした。

南区に大学や研究室など知的な機関が存在しなかったため、この場所は中・高生の職場体験を積極的に受け入れていくべきだと感じました。普段は農業従事者しか入れないとのことでしたが、ここでの知識は子どもたちに伝えていったほうがよいと思いました。

そして秋葉区の委員の皆さんとの意見交換では、7月の8区全体研修会で上がった意見と同意見のものが多かったように感じました。ただ、このような会に参加することで、地域で活躍されている先輩方のお話を聞く機会となり、人生ののびしろを広げることにつながっていると感じています。



公共交通PR事業の報告

第1部会長 本間 智美



連節バス「ツインくる」



マリニピアラッピングバス

第1部会では「公共交通のPR事業」、「防犯・防災啓発事業」を中心に活動を行っています。これまでの上半期では、南区の公共交通を多くの方に知っていただき、利用していただく取り組みを中心に活動してきました。

その一環として、小学生の夏休み期間に合わせて、新潟市水族館マリニピア日本海のラッピングがされている南区バスを活用して、車内を水族館のようにバルーン等で装飾し、「いきものずかん」などを展示して運行しました。多くの親子連れのご家族に楽しみながら乗車していただき、区バスに親しんでいただく機会となりました。

また、まちなか循環ルート「ぐるりん号」の利用啓発の取り組みとして「風と大地のめぐみ」のイベントに合わせて、会場へお越しいただく方の無料シャトルバスとして運行し、多くの方にご乗車いただきました。連節バス(ツインくる)と連携して区バスの展示も併せて行い、生きもの工作コーナーも設け、子どもたちの作成したオリジナルの「ヒトデ」を車内に装飾して楽しんでいただきました。

今後も、多くの方に公共交通に関心を持ってもらい、利用していただけるよう、部会の中で議論していきたいと考えています。



▲子どもたちによるヒトデの車内装飾
◀ラッピングバス車内

南区「家族ふれ愛事業」の報告

第2部会 小林 公子

南区自治協議会南区「家族ふれ愛事業」映画上映会「はなちゃんのみそ汁」には、大変多くの方にご来場いただき、誠にありがとうございました。

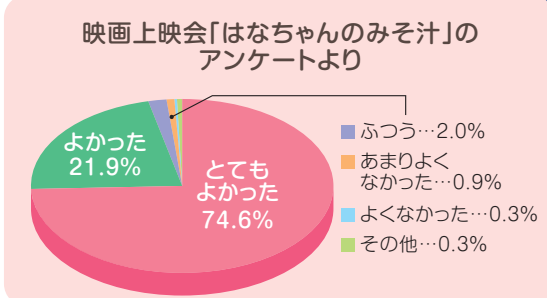
家族のつながりを大切に、温かい家庭を作ることを目的にしたこの「家族ふれ愛月間」の取り組みも今年で6年目となりました。今回のこの映画では、「大切な家族へ、愛する人へ伝えたい、いのちのメッセージ」という事で、命がけで幼い娘に伝えたかった想い、そしてどんな時も笑顔でユーモアで守ろうとした家族。ご覧になった皆様にはきっと暖かな感動をもってお帰りいただけたのではないかと考えております。

当日は、会場ロビーにて絵画展、標語・川柳展も開催されました。どれも日常を垣間見られる力作ぞろいで、皆さん笑顔でご覧になっていた姿が印象的でした。

今回ご協力いただいた方々には、心より感謝申し上げます。来年もまた、皆様に喜んでいただけるような「家族ふれ愛事業」をご提案できればと思っています。



上映会の様子



絵画展・標語・川柳展の様子